

5 本時（第3学年：7/9，第4学年：7/9）

(1) 目標

- ◎ 帯小数の加法も0.1を単位として考えると、整数と同じように計算できることを理解する。
- 帯小数の加法の筆算の仕方について理解する。

- ◎ 小数の加法の意味と計算の仕方を理解する。
- 小数第二位までの小数の加法の筆算の仕方を理解する。

(2) 指導に当たって

同時導入で授業を展開し、つかむ・見通す段階では、ガイドを中心に学習問題から自分たちでめあてを導き出し、主体的に問題解決に取り組んでいこうとする雰囲気を大切にしたい。練り上げの段階では、調べたことをガイドを中心に話し合わせ、共通点を探していく活動を行いまとめへとつなげる。まとめる段階では共通点や大切な言葉を基に自分たちでまとめができるようにしたい。振り返りの場面では、考え直しの時間を設けて考えの変容を捉えさせ、最終的な自分の考えを明確にさせる。さらに、異学年の交流を図り、本時でどのようなことができるようになったのか、どのように考えが変容したのかを子供に実感させられるようにしたい。

(3) 実際 **あ**子供の主体的な学習を促す指導、**い**同学年の子供同士が協力し合ったり、学び合ったりする学習を促す指導、**う**異学年の子供同士が協力し合ったり、学び合ったりする学習を促す指導、**え**教師が積極的に個別対応をする学習指導

指導上の留意点	主な学習活動（第3学年）	過程	位置/時間	過程	主な学習活動（第4学年）	指導上の留意点			
<p>う 主体的に問題解決に取り組むようになるような、具体的生活場面を意識した両学年共通の学習問題で同時導入を行うことで、1単位時間を通して異学年の子供同士が学び合える場を設定する。</p> <p>あ 何をすればいいかわからない、ガイドでどう指示すればいいかわからないという課題があったので、積極的に「ガイド学習の流れ」を活用し、ガイドだけでなく全員で授業の見通しをもち、自分たちで協力して授業を展開できるようにする。</p> <p>い 学習問題や式、前時までの学習、異学年との違いなどから「気づいたこと（今までとちがうこと）」に着目させ、本時のめあてを引き出ししていけるようにする。</p> <p>う 異学年で「小数のたし算」という学習内容をそろえることで、4年生の解決方法や考え方を参考にできるようにする。</p> <p>え 図や言葉などを使って自分の考えを書かせ、考え直しの際に自分の考えがどのように変容したのか、捉えることができるようにする。「0.1のいくつ分」の考えが出なかった子供には、前時の学習を振り返らせたり、半具体物を操作させたりするなど、状況に応じて個別に対応を行うようにする。</p> <p>い 考えを発表する際には、「～さんの考えに付け加えて」「～さんの考えとは〇〇のところがちがっていて」と前の人の考えを受けて、自分の考えを説明できるようにする。そうすることで、友達やその理由をよりしっかり理解させるようにする。</p> <p>い 共通点を探しやすくするために、ガイドを中心に考えを類型化させたり、同じ考えや大切な言葉に印を付けたりさせる。状況に応じて教師も話合いに参加し、「0.1のいくつ分」「整数と同じように」などの言葉が探し出せているか確認するようにし、子供たちだけでまとめがつけられるようにする。</p> <p>い 考え直しの時間を設け、考えの変容（強固・付加・修正）をカードで可視化し、最終的な自分の考えを明確にさせる。</p> <p>う 振り返りの三つの視点の中でも、特にどの考えから変容したのかというその要因を意識した振り返りをさせることで、友達やその理由のよさも実感させたい。また、異学年の交流で今後の学習の見通しをもたせたい。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p style="text-align: center;">○年生は、牛乳をきのう□□L飲みました。今日□□L飲みました。全部で何L飲んだでしょうか。</p> <p>2 学習問題を確認する。</p> <p style="text-align: center;">3年生は、牛乳をきのう2.5L飲みました。今日1.8L飲みました。全部で何L飲んだでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">式 $2.5 + 1.8$</p> <p>3 本時のめあてを確認する。</p> <p style="text-align: center;">小数第一位までの小数のたし算は、どのように計算すればよいでしょうか。</p> <p>4 答えの見積もりと方法の見通しを立てる。</p> <p>【見積り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3より大きい ・4よりも大きいかも <p>【見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.1のいくつ分 ・図 ・筆算 <p>5 自力解決を図る。</p> <p style="text-align: center;">0.1のいくつ分かで考えたら、$25+18$で計算できるね。0.1の43こだから4.3になるね。</p> <p>図で考えると整数の筆算と同じようにできそうだよ。</p> <p>6 考えを交流する。</p> <p style="text-align: center;">0.1のいくつ分になるかを考えると、整数と同じように計算できるね。</p> <p>大切な考え方は「0.1のいくつ分」、みんなの考えの共通点は「整数と同じように」ということかな。</p> <p>7 まとめをする。</p> <p style="text-align: center;">小数第一位までの小数のたし算は、0.1のいくつ分と考えて、整数と同じように筆算で計算すればよい。</p> <p>8 練習問題で確認する。</p> <p>① $0.9 + 7.1 = 8.0$ ② $5 + 3.8 = 8.8$</p> <p>9 考え直しをする。</p> <p>10 振り返りをする。</p> <p>最初は図で考えたけど、友達やその理由のよさも付け加えて、0.1のいくつ分かで考えたら、筆算で簡単に計算できたよ。</p>	つかむ・見通す	10	つかむ・見通す	<p>1 前時の復習をする。</p> <p style="text-align: center;">4年生は、牛乳をきのう3.15L飲みました。今日1.2L飲みました。全部で何L飲んだでしょうか。</p> <p>2 学習問題を確認する。</p> <p style="text-align: center;">4年生は、牛乳をきのう3.15L飲みました。今日1.2L飲みました。全部で何L飲んだでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">式 $3.15 + 1.2$</p> <p>3 本時のめあてを確認する。</p> <p style="text-align: center;">小数第二位までの小数のたし算は、どのように計算すればよいでしょうか。</p> <p>4 答えの見積もりと方法の見通しを立てる。</p> <p>【見積り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3より大きい ・4よりも大きいかも <p>【見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆算 ・図 ・0.01のいくつ分 <p>5 自力解決を図る。</p> <p>図で位ごとに計算すると、1Lが$3+1=4$、0.1Lが$1+2=3$、0.01Lが$5+0=5$ 合わせて4.35Lになるよ。</p> <p>3年生のとき筆算で計算したね。小数第二位でもできるかな。</p> <p>6 考えを交流する。</p> <p style="text-align: center;">3年生では0.1のいくつ分で考えたから、小数第二位の計算も、0.01のいくつ分で考えたらよさそうだね。</p> <p>図の考えも「0.01のいくつ分」につながりそうだね。小数点をそろえて筆算ができるね。</p> <p>7 まとめをする。</p> <p style="text-align: center;">小数第二位までのたし算は、0.01のいくつ分と考えて、整数と同じように位をそろえて筆算で計算すればよい。</p> <p>8 練習問題で確認する。</p> <p>① $2.25 + 1.34 = 3.59$ ② $9.23 + 0.47 = 9.70$</p> <p>9 考え直しをする。</p> <p>10 振り返りをする。</p> <p>3年生の学習を生かして、0.01のいくつ分と考えると、筆算で位をそろえて計算できた。より自信ができたよ。</p>	調べる	10	調べる	<p>う 学習問題の表現をそろえて同時導入を行うものの、数値に違いをつけ、「どちらが多く飲んだでしょうか。」と補助課題を添えることで、異学年の学習を意識しながら主体的に問題解決に取り組めるようにさせる。</p> <p>あ あえて、つまずきの出やすい末尾のそろわない小数第二位と小数第一位の加法の問題を設定することで、共通点だけでなく相違点も生かした学びを主体的に展開できるようにする。</p> <p>い 学習問題や式、前時までの学習、異学年との違いなどから「気づいたこと（今までとちがうこと）」に着目させ、本時のめあてを引き出ししていけるようにする。</p> <p>う 「小数のたし算」という学習内容をそろえることで、「めあて」「まとめ」だけでなく、異学年の学び合いのよさに気付くことができるようにする。</p> <p>え 子供主体で学習を進めることで、同時間接の時間を確保し、個別指導の時間を充実させるようにする。特に、自分の考えがまとめられない子供には、3年生の学習の様子を確認させたり、しますの図や半具体物で考えさせて、自分の考えをまとめられるようにする。</p> <p>い 話合いが展開する中で、何をすればいいかわからない、考え方がわからないという課題があったので、必要に応じて「ガイド学習の流れ」を活用させたり、教師がコーディネーターとして状況に応じた助言を行ったりする。</p> <p>あ みんなの考えをまとめる際に様々な意見があり、まとめられないという課題があったので、めあてに戻り、整合性を確かめて焦点化を図ったり、自力解決の際に共通点や大切な言葉になりそうなキーワードを意識して考えをまとめさせたりする。</p> <p>い 話合いを通して探し出した共通点「整数と同じように」や大切な言葉「0.01のいくつ分」などを生かして、めあての答えとなるような学習のまとめができるようにする。</p> <p>い 考え直しの時間を設け、考えの変容（強固・付加・修正）をカードで可視化し、最終的な自分の考えを明確にさせる。</p> <p>う 振り返りの三つの視点の中でも、特にどの考えから変容したのかというその要因を意識した振り返りをさせることで、友達やその理由のよさも実感させたい。また、異学年の交流で今後の学習の見通しをもたせたい。</p>

